

劇症型溶血性レンサ球菌感染症と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

最近話題の

	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎
病原体	A・B・C・G 群溶血性レンサ球菌 A 群によるものが多い	A 群溶血性レンサ球菌
病気の説明	四肢の疼痛・腫脹・発熱・血圧低下などの初期症状の後、 <u>急激に病状が進行し</u> 、軟部組織の壊死や多臓器不全、DIC、敗血性ショックなどを引き起こす	発熱と咽頭痛、咽頭扁桃の腫脹や化膿、リンパ節炎を発症
感染経路	創傷感染、上気道感染、手術部位感染等 発症機序には不明な点が多い	飛沫感染、接触感染
好発年齢	幅広い年齢層	小児の発症が多い
治療	抗菌薬治療、病変部の切除など 早期発見・早期治療が重要	抗菌薬治療
予防方法	感染経路等不明な点が多いが、うがいや手洗い等の一般的な感染症予防やケガをした際の傷口はよく洗い消毒などを実施し清潔に保つ	手洗い・マスク着用など一般的な予防方法を実施する

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者報告状況

- ・国立感染症研究所によると 2023 年の患者数は 941 人（速報値）で 1999 年の調査開始以来最多です。
 - ・長野市では、2024 年第 2 週に 1 例、第 5 週に 2 例の報告がありました。A 群 2 例、G 群 1 例でした。
- 国立感染症研究所（<https://www.niid.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-iasrs/12461-528p01.html>）を中心として、患者由来の病原菌の血清型や遺伝子型等の解析が進められています。

【劇症型溶血性レンサ球菌感染症年別患者報告数】

年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年※
全国	926	751	645	733	941	222
長野県	12	16	13	18	23	5
長野市	0	2	4	6	5	3

※全国・県・市は第 5 週午後 3 時現在の速報値です。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告状況

- ・定点あたりの届出は 2023 年第 41 週以降増加、48 週に警報レベルの 8.00 を超え 51 週には 9.64 となっています。2024 年第 5 週は定点 7.18 となっています。